

# みやぎ母乳育児をすすめる会

ニュース No.58



2022. 9

# 目 次

## 巻 頭 言

みやぎ母乳育児をすすめる会 理事長 青葉 達夫 …… 1

## ■ みやぎ母乳育児をすすめる会 定例会感想

みやぎ母乳育児をすすめる会 幹事 佐々木 京 …… 2

## 母親に必要な母乳育児支援とは～最近の育児環境から支援を考える～

みやぎ母乳育児をすすめる会 副理事長 中村 理恵 …… 3

## ■ 東北母乳の会報告

みやぎ母乳育児をすすめる会 理事長 青葉 達夫 …… 9

## 特別講演「母乳育児と母乳育児を支援する心」について

みやぎ母乳育児をすすめる会 監事 堺 武男 …… 10

## 現在のとりくみ 産科のはなし

みやぎ母乳育児をすすめる会 理事 藤本久美子 …… 14

## ■ 崔 佳苗実さんの御霊のご冥福をお祈り申し上げます

みやぎ母乳育児をすすめる会 監事 堺 武男 …… 16

## ■ NPO法人みやぎ母乳育児をすすめる会

2021年度 第6回理事・幹事会議事録 …… 18

## ■ NPO法人みやぎ母乳育児をすすめる会

2021年度 第7回理事・幹事会議事録 …… 20

## ■ NPO法人みやぎ母乳育児をすすめる会

2021年度 第8回理事・幹事会議事録 …… 23

■ 母乳フォーラム案内 …… 25

■ やさしい育児の本案内 …… 26

## 巻 頭 言

みやぎ母乳育児をすすめる会 理事長 青葉 達夫

みやぎ母乳育児をすすめる会では1993年に前身団体を立ち上げた翌年以来、5年毎に産科退院時から1歳までの宮城県の母乳率調査を行ってきました。国の母乳率調査と比較して宮城県の現状をとらえる良い指標で、全国と比較して宮城県の母乳率は高めで推移していました。ところが2019年に行った調査では人工乳で育てている割合が増え、特に1歳時に母乳を飲んでいる赤ちゃんの割合が明らかに減りました。原因としては少子化、出産年齢の上昇、女性の社会進出など、女性が子育てだけに注力していただける社会ではなくなったことなどが考えられます。また、イクメン政策によるパートナーの育児参加や、祖母祖父などの育児協力なども、栄養方法に様々な影響を及ぼしていることも推測されます。

元来、栄養方法にかかわらず、育児の主役は子どもと母親、家族です。ところが個人的には今まで熱心に入れ込んできた母乳育児の世界観を引きずっていて、変化していく世の中にすぐには追随できていないのが現実です。指導という名のもとに理想（だった）事柄を押し付けるのではなく、お母さん方の声をつぶさに拾い、寄り添って支援するというのが、いかに難しいかを、この頃ひしひしと思い知らされています。

この秋の母乳フォーラムのテーマでもある「産後ケア」は、令和元年12月1日に成育過程にある者及びその保護者並びに妊産婦に対し、必要な成育医療等を切れ目なく提供するための施策の総合的な推進に関する法律（平成30年法律第104号）による、お母さんへの育児支援という国の施策のひとつです。安心できる状況で育児ができてこそその母乳育児です。まずは安心して子どもを生み育てたい、母乳で育てたい、と思えるような世の中は、母親だけで作れるものではありません。母乳が良いのは当たり前、そしてそれをどう複雑化し、混沌とした社会情勢に落とし込んでいけるかが、われわれの次のステージです。考えるとわくわくしますね。

## みやぎ母乳育児をすすめる会 定例会感想

みやぎ母乳育児をすすめる会 幹事 佐々木 京

2022年5月29日、オンラインで定例会が開催されました。東北公済病院の小児科医師である中村理恵先生に講師としてご講演いただきました。「母親に必要な母乳育児支援とは～最近の育児環境から支援を考える～」をテーマに、参加者は約60名で医療従事者だけでなく助産科の学生や一般の方もおり、皆で母乳育児の良さを改めて学び、考える良い機会となりました。

先生のお話の中で、時代の変遷とともに母親学級のあり方や母児の同室までの時間などが変わっていることがわかりました。コロナ禍となり早3年目になりますが、母親学級はオンラインや動画視聴に変わり、妊娠中に母乳の利点や母児同室の良さを十分に伝えることができていないと実感することもしばしばあります。また情報はインターネット上にいくらでもあり、多く参考にされているのも事実です。加えて外出自粛の世の中で、ママ同士の交流も減っているため不安を共有することも少なく、ママたちは孤独を感じているのではないかと思いました。ママたちにとって医療者がより身近に感じられ、困った時に相談できる存在であれば、安心して育児をすることができると思いました。

最近よく耳にする、「特に母乳へのこだわりはないので混合でいい」、「夜は休みたいから混合栄養希望」、「仕事復帰を考えているのでミルクを使いたい」、「夫にも手伝ってもらえるように哺乳瓶にしたい」というママたちの言葉に私はショックを受けることがあります。しかし、先生のお話の中でママたちの持つ気持ちとして「母乳が十分に出るか心配」、「こだわりのある面倒な人だと思われたくない」、「母だけが育児をするのは納得できない」など様々な思いがあることを知りました。そのような思いがあることを念頭に置いて、ママたちには必要な情報提供や育児行動の獲得への支援をしていきたいと思いました。母乳育児は母の特権という言葉聞き、ママにしかできない幸せな体験として授乳を楽しんでもらえるように、妊娠期から産後まで継続した関わりをしていきたいと思います。


講演を聴き、母乳育児が母子双方にとって素晴らしいことだと再認識できました。これからも母乳育児推進に尽力したいと思います。貴重な機会をいただき、ありがとうございました。

みやぎ母乳育児をすすめる会 定例会@zoom  
**母親に必要な母乳育児支援とは**  
 ～最近の育児環境から支援を考える～


みやぎ母乳育児をすすめる会 副理事長  
 小児科医 中村 理恵  
 2022.5/29

**なぜ母乳育児をすすめるの？**

赤ちゃんとお母さんの  
 幸せのため

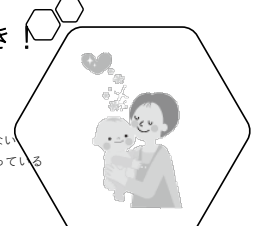


**母乳育児にはいいこといっぱい！**  
 「初乳から卒乳まで」より



**赤ちゃんはママが大好き！**

- 母乳育児 (breastfeeding) とは  
 胸に抱いて授乳すること  
 母子相互作用
- 赤ちゃんはママと一心同体 境目がわからない  
 → その緒が切れてもおっぱいでつながっている
- 「子どもの脳は肌にある」山口創
- 基本的信頼



**基本的信頼**





**わたしのあかちゃん**

• 岩手の黒川産婦人科で実際に母乳育児を行った作者の絵本



**赤ちゃんにやさしい病院とは (Baby Friendly Hospital)**

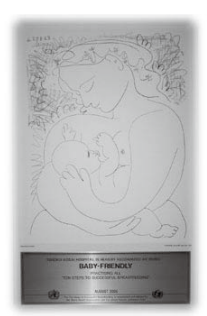
「母乳育児成功のための10カ条」を守り、実践する産科施設を「赤ちゃんにやさしい病院」としてWHO/ユニセフが認定。  
 日本では66施設 (2021年)

1981年 「母乳代用品のマーケティングに関する国際基準」WHOコード  
 1989年 「母乳育児の保護、推進、支援」産科医療施設の特別な役割」・・・母乳育児成功のための10カ条  
 1990年 イノチェンティ宣言 (32か国の政府と10の国連機関)  
 1991年 「赤ちゃんにやさしい病院運動」  
 2002年 「乳幼児の栄養に関する世界的な運動戦略」  
 2018年 母乳育児がうまくいくための10のステップ (改訂版)

母乳育児が母子の健康を守るから  
 ⇒ 母乳育児を支援する産科施設が Baby Friendly Hospital

**宮城県の母乳育児支援**

- 宮城県にはBFHが5か所  
 東北公済病院(2005年)  
 仙台医療センター(2010年)  
 仙台市立病院(2012年)  
 坂総合病院 (2014年)  
 春ウィメンズクリニック
- NPO法人 みやぎ母乳育児をすすめる会
- 宮城県助産師会



### 母乳育児成功のための10カ条, 1989

WHO/UNICEF: The Ten Steps to Successful Breastfeeding, 1989

産科医療や新生児ケアにかかわるすべての施設は以下の条項を守らなければなりません。

1. 母乳育児についての基本方針を文書にし、関係するすべての保健医療スタッフに周知徹底しましょう。
2. この方針を実践するために必要な技能を、すべての関係する保健医療スタッフにトレーニングしましょう。
3. 妊娠した女性すべてに母乳育児の利点とその方法に関する情報を提供しましょう。
4. 産後30分以内に母乳育児を開始できるよう、母親を援助しましょう。
5. 母親に母乳育児のやり方を教え、母と子が離れることが避けられない場合でも母乳分泌を維持できるように方法を教えましょう。
6. 医学的に必要がない限り、新生児には母乳以外の栄養や水分を与えないようにしましょう。
7. 母親と赤ちゃんが一緒にいられるように、終日母子同室を実施しましょう。
8. 赤ちゃんが飲しがるときに飲しがかるだけの授乳を勧めましょう。
9. 母乳で育てられている赤ちゃんに、人工乳首やおしゃぶりを与えないようにしましょう。
10. 母乳育児を支援するグループ作りを支援し、産科施設の退院時に母親に紹介しましょう。

### 母乳育児がうまくいくための10のステップ

「母乳育児成功のための10カ条」2018年改訂版

WHO/UNICEF: The Ten Steps to Successful Breastfeeding, 2018

施設として必要な要件

- 1a. 「母乳代用品のマーケティングに関する国際規範」と世界保健機関の関連決議を完全に遵守する。
- 1b. 乳児栄養の方針を文書にしスタッフと親にも伝達する。
- 1c. 継続したモニタリングとデータ管理システムを確立する。
2. スタッフが母乳育児を支援するための十分な知識、能力、スキルを持つようにする。

臨床における必須の实践

3. 母乳育児の重要性とその方法について、妊娠中の女性およびその家族と話し合う。
4. 産後直後からの授乳を促すことのない親と乳との機能的な早期母子接触が可能なように、退院後までできるだけ早く母乳育児を開始できるように母親を支援する。
5. 母親が母乳育児を開始し、継続できるように、また、よくある困難に対処できるように支援する。
6. 医学的に適応のある場合を除いて、母乳で育てられている新生児に母乳以外の栄養を与えない。
7. 母親と赤ちゃんがそのまま一緒にいられるよう、24時間母子同室を支援する。
8. 赤ちゃんの飲しがるときに授乳を促すように、母親を支援する。
9. 哺乳びん、人工乳首、おしゃぶりの使用を避けるように、母親と話し合う。
10. 親と赤ちゃんが継続的な支援とケアをタイムリーに受けられるよう、退院時に調整する。

翻訳: NPO法人日本ネオネーション・コンサルタンツ協会 2018年9月



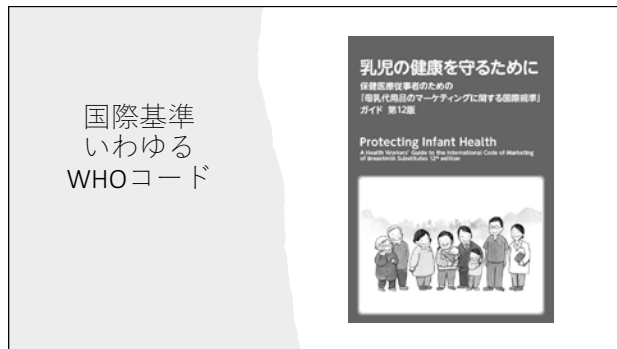
10steps to yes

出産直後からお母さんと赤ちゃんはいつも  
産後直後から授乳がスタートする。母乳は赤ちゃんの健康と成長の鍵となる。母乳育児の利点を知り、母乳育児を始めることに決まると、母乳育児の成功は、母乳育児の利点を知ることから始まる。

飲しがるときに飲しがかるだけおっぱい  
母乳育児の利点を知り、母乳育児を始めることに決まると、母乳育児の成功は、母乳育児の利点を知ることから始まる。

痛くないラクな方法を見つける  
母乳育児の利点を知り、母乳育児を始めることに決まると、母乳育児の成功は、母乳育児の利点を知ることから始まる。

### 国際基準 いわゆる WHOコード



乳児の健康を守るために  
保健医療従事者のための「母乳代用品のマーケティングに関する国際規範」ガイド 第12版

Protecting Infant Health  
A Health Manual: Guide to the International Code of Marketing of Breastmilk Substitutes (12<sup>th</sup> edition)

### 母乳代用品の販売流通に関する国際基準 (WHOコード)

- ①母乳代用品（人工乳）は一般向けに宣伝してはならない
- ②保健施設、医療施設で、製品を売り込んではならない
- ③乳児の絵を含めて、製品のラベルには、人工哺乳を理想化するような言葉あるいは絵を使用してはならない
- ④ラベル表示を含め、人工哺乳に関する情報はすべて母乳育児の利点を説明し、人工哺乳のマイナス面、有害性を説明すべきである。

など  
人工乳、哺乳瓶、乳首は一般的に宣伝してはいけない

### ちょっと自己紹介

- 1994年（平成6年）から東北公済病院小児科で勤務
- 病院の改修工事→新生児室（未熟児室）が小児科病棟から産科病棟へ移転。以後同じスタッフが母も児もみる体制へ
- 産科はもとより小児科でも、元々母乳育児をすすめていた。乳業会社とのつながりなし
- 分娩数 一時期は月100件以上
- 病児の診療と退院前の新生児診療・乳児健診を担当
- 当院で3人出産。夫立ちはいい。3人目は家族立ち合い
- 母乳育児経験あり。出産前に山内逸郎先生の連載と出会う（小児科診療）
- みやぎ母乳育児をすすめる会会員



### 「小児科医へのアドバイス」山内逸郎先生

小児科診療 連載より抜粋1993年

2. 母乳育児は乳児栄養の問題ではない  
12ヶ月以内で達成できたこのアドバイスの主旨は、新生児で母乳育児は乳児栄養の問題ではなく、母子がいかに人間関係の確立の問題である。したがって集合的カリフォルニアで別の状況で検討されるべき問題である。これまで母乳育児は母乳という1個体を指してきたが、乳児からの直接授乳、哺乳と、それによって生まれる母子の人間関係を指すのが主目的である。これまでも母乳育児を達成することは困難でなく、早期授乳・頻回授乳・母子同室を履行すれば、必ず成功するものであることを繰り返して述べた。しかもこれは現在ではほぼ達成されているもので、ユニセフ・WHOの「母乳育児を成功させるための10カ条」として報告されている。日本の医療者の皆さんに、心からお願ひしたいことは、日本の新生児の行った出生直後のケアから、1日にも早く観察していただきたいということである。
3. 健診  
4月に産後から「母乳についてのアドバイス」を連載するよう要請され、12ヶ月間ということになった。3年間健診の診療のため入院中なので、12ヶ月でお引き受けしたというものは、7月から連載を始めるから、実年齢になってしまった原稿を書くことが出来るかと気になりました。そこで12回分まとめて、原稿を仕上げた5月末に提出した。もうどんなことがあっても、暮る思いを小児科の先生方に打明けてしまったのだから、すがすがしい気持ちになっ

### 子育て今昔その1 1990年代

- 母親学級 先輩ママの体験談
- 夫立ち合い（条件付き）
- 生まれたらまず沐浴
- 新生児室で預かり1-2日目から母乳同室
- 入院中の面会
- 退院後は3週間健診
- 健診は家族とともに（祖母 たまに父）



### 子育て今昔 その2 2000年頃

- 母親学級
- 夫立ち合い（条件緩和）
- 生まれたら抱っこ・カンガルークア
- 基本は母乳同室へ
- 面会は毎日
- 健診 家族とともに 父の来院が増える

- イクメン 1999年厚生省ポスター  
「育児をしない男を、父とは呼ばない」



### カンガルークア

宮城県新生児カンファランス  
第1回の特別講演（1999年）  
橋本洋子さん 臨床心理士


早期母子接触のビデオ



.....

## 第11回母乳育児シンポジウム 2002年

- 仙台開催 実行委員長 堺武男先生 小児科医 (当時：宮城県立こども病院)
- 東北で初めてBFHが認定された 岩手県 黒川産婦人科
- 宮城県の参加施設でもBFH認定への機運の高まり



## 子育て今昔 その3 2005年頃 BFH認定

- 母親学級 (すこやかクラス) 小児科医も参加
- 夫立ち合い (条件緩和) 家族立ち合い
- 生まれたら抱っこ・カンガルーケア・早期皮膚接触
- 24時間母乳同室へ
- 面会
- 退院後1週間健診 (母乳育児相談室)
- 健診 家族とともに 父の来院が増える
- 母親学級 産後編 HUGはぐクラブ




### 飲めてるかな？チェック

- ポジショニングとラッチオン 母を評価しない
- 自立した母親に 主体的に育児できるように

### 母乳育児相談室


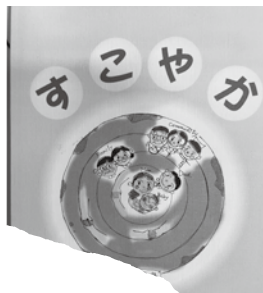


### Hugはぐクラブ (産後のすこやかクラス)

- 3-6か月ごろ 離乳食の話 (栄養士)
- 5-8か月ごろ 歯の話 (歯科衛生士)
- 1歳ごろ 卒乳・遊びについて



### みんなの輪

.....

## 第19回母乳育児シンポジウム 2010年

- 仙台開催 実行委員長 上原茂樹先生(産婦人科医) (東北公済病院) 仙台で2回目の開催 実行委員に東北各県から参加
- 特別講演は 早期皮膚接触がテーマ

## 東日本大震災 2011年

### 災害時の母乳育児支援について







## 日本周産期・新生児医学会

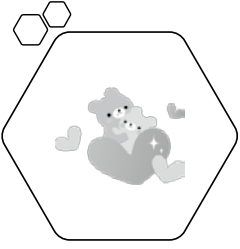
- 2012年8月 早期母子接触実施の留意点  
NICUでのカンガルーケアと区別する
- 2019年9月 「母児同室」実施の留意点  
母の希望と同意がある？  
母乳育児が望ましいという記載あり

## 授乳・離乳の支援ガイド 2019年改訂版



## 子育て今昔 その4 2020年頃 COVID-19

- 母親学級 オンライン YouTubeで配信
- 里帰り 制限
- 立ち合い出産不可
- 生まれたら抱っこ・カンガルーケア
- 24時間母児同室
- 面会不可
- 退院後1週間健診（母と児のみ）
- 健診 個別
- HUGはくクラブ お休み中




## 社会の変化



- 少子高齢化
- 高齢初産・若年妊婦 デキ婚・授かり婚
- 不妊治療・多胎児
- 産後うつ
- 家族関係の複雑化 single mother, step family
- 貧困・経済不安
- 保育所
- 災害（地震）・感染症（covid-19）・戦争
- インターネット・SNS・アプリ
- フェミニズム・ジェンダー論

## 産後の母親の気持ちは？


- 母乳にこだわりがないのでミルク足しても構いません。
- パパにも飲ませてもらいたいから混合にしたいです。
- いずれ仕事復帰するから哺乳瓶に慣らしたいです。



## 母乳にこだわりって？


- できれば母乳育児がしたいという母の割合は多い  
→それでもこだわらないことは？
- おっぱいが十分で心配。
- 出なかつたら自尊心が傷つく。自分がダメな母親と思われそう。
- こだわりのある面倒な人と思われたくない。
- 厳しく指導されるのは嫌。
- 母乳育児を応援してくれる人が身近にいない。

こだわるのは悪いことですか？  
母は尊重された上でこちらの声に耳を傾け自己決定できる。



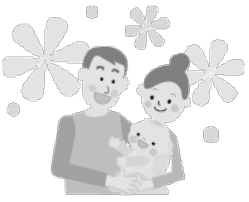
## パパにも飲ませてもらいたいから混合栄養？

- 母だけが育児するのは納得できない
- 育児は哺乳することだけ？  
他に何をしてもらえばいいの？  
男女平等で今までやってきたのに
- 授乳間隔があくことでかえって乳房トラブルのもとになることも
- 母乳育児はむしろ母の特権では？




## 家族の支援は 父の育児参加

- なぜパパだけが褒められる？→ママも認められたい
- 育児休暇やテレワークで家にいるのに  
→ママ なんでも私だけ  
→パパ 何をしてもいいかわからない
- 初心者同士 不安が募る  
→安心してほしい→スマホで検索？
- 実家との関わり まだ仕事で忙しい/高齢で頼めない  
実家が遠い（2週間待機）  
もともと疎遠
- 産後ケア



## 哺乳瓶に慣らしたい

- ワンオペ育児は嫌
- 薬も飲めないの？
- 社会から取り残されるのでは  
授乳室は？搾乳場所？
- 保育所 入所時期 冷凍母乳の扱い
- 職場の理解



## 例えば 仙台市の産後ケア





### 社会の支援は

- 産後2週間健診 産科施設
- 新生児訪問 行政 保健師・助産師
- 乳幼児健診 小児科
- 産後ケア 行政 助産師

- 経済的にも
- 職場から 育児休業
- 保育所 入所時期 母乳t育児への理解
- 社会 授乳室・搾乳室・ベビールーム・授乳服
- 地域との繋がり 泣き声通告？



### 授乳室と搾乳室

- NHK朝のニュース 2022.5/23 搾乳室の話題 大崎市の酒造メーカー WEBニュースでは授乳室の記事も




### 母乳育児とは 当為

- 本来は楽しくて楽なもの

母は漲って苦しい乳房を吸ってもらい気持ちよい。赤ちゃんも満足。お互いに幸せ。その場で飲ませてそのまま休める。


母と子を守られたわられるべき 必要な知識と支援を受ける

→その上で 母自身の選択を尊重する



### 母乳と人工乳（ミルク）は変わらない？


- 母乳が良いという出ない人が可哀そう？
- 子育ては授乳だけ？
- 母乳と人工乳の違いって？
- ちょい足しミルク
- ねんねトレーニング
- 夜間断乳
- 卒乳はいつするか？
- 聞く相手はスマホ 偏った情報かも？



### 母親自身は？

- 身近に母乳育児について聞ける人がいない 母親教室はオンライン 産科スタッフは忙しい 知り合いで育児経験者が少ない 立ち合いもできず面会もない
- 知識不足・マニュアルがないと不安 授乳をアプリやタイマーで管理 授乳時間の通知機能！ インターネットで調べてしまう
- 自分に自信がない！評価が気になる 混合栄養・人工栄養の場合はどうしたら？

⇒それは私たち支援者のせいかもしれません



2020年12月21日 19:30

助産師さんから言われた。

「これから育児をしていく上で大切なことが3つある。①ごはんをちゃんと食べること ②おしゃべり、お化粧とかしていいのよ全然、身綺麗にすること ③トイレに行くこと。この3つは赤ちゃん泣かせていいからやらんとすること。後戻りしたら絶対ダメ」

「産後は脳が赤ちゃんのことだけに集中するように切り替わるから、1番どうでもいい事柄的な事は見えない。すぐ忘れるようになる。それは普通だから。「言ったじゃん」とか「何で覚えてないの」とか言われたら、その人のことも忘れなさい」

「何時もおきにどれくらいの量とかきっちりなくていいから。飲んだり飲まなかったり、寝たり寝なかったり。ムラがあってもいいよ。赤ちゃんは機嫌じゃないよ。1日でも考えず、1ヶ月を過ぎて成長していれば3時間も長時間もどうでもいいよ。細かく気にしすぎないこと」

「オムツ替えてもおっぱいあげてもミルクあげてもあやしても泣き止まない時は自分何とかなしよとせずにすぐに誰かから助けを求めなさい。そういう時はただ甘えてただだからママ以外だと諦めてすぐ寝る。1番早く泣き止ませる方法」

「赤ちゃん優先じゃなくて自分優先で、自分のこともできない人が赤ちゃんのことできるわけじゃないでしょう。自分のことも赤ちゃんのこともできない人が家事なんてできるわけじゃないでしょう。覚えてない人に覚えて貰われても寝れないでしょう。まずは寝なさい」

### 母親に必要な母乳育児支援とは

- 母自身と赤ちゃんを大事にする気持ち 母親の自己肯定感 赤ちゃんとお母さんの心と体の声をきこう
- 育児に必要な正しい知識（母親にとっても）
- 寄り添う支援者 母親をエンパワーメント 母親にとって最適な方法を共に考える 支援者同士つながろう



### 宮城県助産師会



### M-MOT



### 仙台では

- のびすく（母乳育児相談） 休止中
- 仙台助産師サロン



ラ・レーチェ・リーグ

母乳育児支援団体

母乳育児支援団体

みやぎ母乳育児をすすめる会

私たちが寄り添います

ご清聴ありがとうございました。

秋のフォーラムでまたお会いしましょう。

## 東北母乳の会報告

みやぎ母乳育児をすすめる会 理事長 青葉 達夫

コロナ禍で開催が危ぶまれていた第13回東北母乳の会が、今年2022年6月4日（土）に盛岡で開催されました。ハイブリッド形式で、会場とライブ配信でした。アーカイブ配信、オンデマンド配信はありません。その場の時間軸での開催ですが、これは今後の勉強会の開催の考え方の礎になると感じました。コロナ前では会場でのオンタイムだけでの行事ですから、ハイブリッド方式は聴ける場所が多岐にわたって、かつ、いままでのライブ感満載であったと思います。時間差で情報を受け取れるアーカイブ配信は確かに便利ですが鮮度が落ちるのも確かです。今回の開催にあたり、ご尽力された「いわて母乳の会」の面々には頭が下がるばかりです。

さて演題ですが、基調講演が2題、東北6県のアンケート報告という宿題報告、各県の現状報告6件で構成されました。基調講演は当会監事の堺武男が『母乳育児と母乳育児を支援する心』、言語聴覚士の中川信子先生が『親子のコミュニケーションのはじまり』です。

堺は、自身の母乳育児支援の経緯から始まり、いろいろな支援の新旧の比較から、大切なものは母乳育児の「確立」と「継続」が重要である、と説いていました。支援とは何か？新旧ふたつの母乳育児成功のための10ヶ条の比較から、母子関係が大事であること、そして多様性に目を向ける支援が重要であると述べています。今まで長いこと傍で教えを受けておりましたが、深化したと感じました。今までの経緯を知る我々も改めて聴いて母乳育児支援を考えたいという内容でした。機会があれば今一度、当会でも講演していただきたいと思います。

もう一つの基調講演は、子どもが得意な言語聴覚士の中川先生です。日本では9割がたの言語聴覚士が成人の脳血管障害後のリハビリテーションに従事するため、こどもの言語療法のお話は興味深いものがありました。母子の支援では欠かせないポイントです。

宿題報告があり、その後の各県の現状報告は、当県からは「現在のとりくみ 産科の話」として当会理事の坂総合病院 産婦人科医師 藤本久美子からコロナ禍での感染対策の現状の報告がありました。他県からは「親子と地域をつなぐ子育て支援～BFHの取り組み～」(岩手県)、「福島県における母子支援～助産師会での活動報告～」(福島県)、「山形県産後ケア事業の乳房ケアについて」(山形県)、「秋田県の産後ケア事業の現状と今後の課題について」(秋田県)、「親子と地域をつなぐ子育て支援～いま、支援の輪を広げよう～」(青森県 保育園編)の報告がありました。現状で各県のトピックスが多岐にわたり興味深いものでした。この秋に当会で開催する母乳フォーラムで取り上げる「産後ケア」も2題あり、いずれも暗中模索であるとわかりました。

運営も時間通りに進み、盛会のうちに無事終了し、とてもいい会でした。みやぎ母乳育児をすすめる会は会場で『やさしい育児の本』の販売を行いました。来年の当番県は青森になります。

## 第13回 東北母乳の会 特別講演 「母乳育児と母乳育児を支援する心」について：序文

みやぎ母乳育児をすすめる会 監事 塚 武男

「宮城県母乳育児をすすめる会」を1993年に立ち上げ、母乳育児支援を始めてから30年近い時間が経過してきています。

立ち上げ当時の主たる課題と目標は低迷する母乳率に対し、人工乳育児に対して如何に母乳育児が優秀で重要であるかを母親たちに説き、少しでも母乳率を上げることでした。

各産科においても小児科においても目標は完全母乳であり、その最終目標はBaby Friendly Hospital (BFH) を目指すことでした。BFHでは何よりも高い母乳率が要求されていました。

その流れがこの10年以上の間少しずつ変化してきています。その変化をもたらしている最大の原因は少子化の急激な進行です。子ども人口の減少は著しく、この国の将来に大きな不安をもたらしています。そしてこの少子化の背景には多くの問題が潜んでおり、特に「子どもの貧困」に表現されるような経済的な問題が大きく、それは25 - 44歳の「子育て世代」と呼ばれる女性の就労率が75%を超えていることに端的に表れています。私は女性が働くことをとやかく言っているのではありません。働かざるを得ない現状があるという事実を示しているだけです。その結果、専業主婦が減少するという結果に結びつき、保育園保育がより必要になっています。つまり、育児には母親以外の関わりが欠かせなくなっています。それに加えて、結婚率の低下、初婚初産年齢の上昇は、当然ながら高齢初産、出産の増加につながっています。

このような社会状況、育児環境の変化の中で、それではどのように母乳育児を勧めていくか、それは母乳育児そのものとその支援者の双方に、これまでの母乳率向上を目指すだけではない新たな姿勢が求められています。

それは、今後も進んでいくであろう少子化、母の就労率の上昇、それに伴う職場復帰、保育園育児、結果としての混合栄養の増加、などの育児環境の多様化の中で母親が母乳育児をどのように楽しくお子さんと共に進められるか、それをどのように支援していくかの内容と姿勢が問われていることになります。

その意味で今回の講演は母乳育児とその支援の心の双方が、今後多様な形を模索しなければならないという問題提起としました。

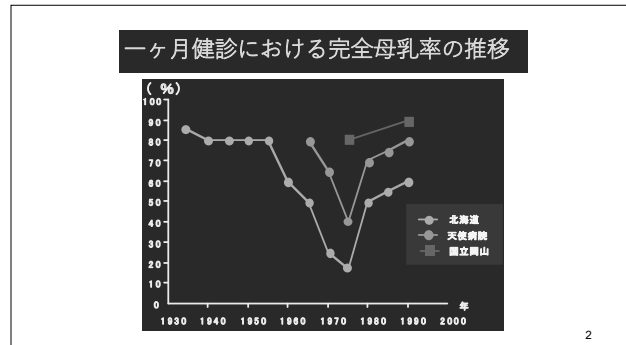
とは言え、育児の根本にあるのは常に「母子関係、親子関係、家族」であることは間違いありません。

「見つめて、話しかけて、抱きしめて、そしておっばい」が原点であることは変わらないことを伝えながら多様な時代を考え、行動していきましょう。



2022.6.4 第13回東北母乳の会(盛岡)  
「母乳育児と母乳育児を支援する心」  
堺 武男

1



2

1989: WHO & UNICEF  
「母乳育児成功のための10ヶ条」  
1990: UNICEF等  
「母乳育児の奨励と支援に関する  
インテント宣言」  
1991: WHO & UNICEF  
「赤ちゃんに優しい病院運動 (BFHI)」  
1992: WHO & UNICEF, 8月1日を  
「世界母乳の日」,  
この日を「世界母乳週間」と定める  
2018. 4 「母乳育児成功のための10ヶ条」  
改定版発表

3

Baby Friendly Hospital:BFH  
=赤ちゃんにやさしい病院

・目指すのは母乳率の上昇のみではなく  
「赤ちゃんへのやさしさ」

→「お母さんへのやさしさ」 母乳育児が出来  
なかつたお母さんにも優しい気  
持ちのあふれる  
スタッフがいっ  
ぱいる病院

→「家族へのやさしさ」

→「人間へのやさしさ」

→「環境へのやさしさ」

4

妊娠中にすべての母子は母乳育児  
の準備をしている

- ・妊娠後期には乳房の中に早期の初乳が貯留して  
乳房が増大する(在胎16週頃から母乳の産生が始  
まる)。
- ・この時期には尿中に乳糖が検出する。  
乳房サイズの増大と尿中に乳糖が認められ  
れば医学的には母乳育児が可能と言える。  
(水野克己, 小児内科.42:1586,2010)

ヒトは母乳で生きることが当たり前の動物  
=生物学的当為(山内逸郎)

5

母乳育児を困難にしている様々な問題  
何でも母乳責任論：その科学的根拠はない

1. 体重の増えが悪い
2. 黄疸が強くなる
3. 母乳回数が多いと離乳食を食べない
4. アレルギーが多い(母親の食事、内容との関連)
5. 虫歯になりやすい
6. 長期の授乳は児の自立心を損なう
7. その他(母親の服薬、母親の妊娠で断乳などなど)

6

ヒトの生活環境の変化が母乳育児に  
もたらした影響

1. 食事内容の変化：狩猟文化から農耕文化へ(動物蛋白から  
米、麦、野菜中心へ)→鉄↓、V.D↓
2. 日光に当たる時間の減少→V.D↓
3. 母子同床→母子異室→早期母子接触:初乳分泌時期への影  
響=低血糖予防
4. 食器の変化：鉄器時代(3200年前)から現代のステンレ  
ス時代へ→食餌内容の鉄分の低下
5. サイトメガロ抗体保持者の減少→感染者の増加  
→母乳自体は変わっていない、人の生きる環境が変化してい  
る現象を見ている(その方向は?)

7

母乳を知ること  
母乳育児の利点と母乳育児支援の重要性

母乳は、消化管での吸収効率が高く、多くの生理活性物質は  
抗炎症作用及び感染防御作用を要する。また、中枢神経系の  
発達にも大きな役割を担っており、児が未熟であるほどその  
利点は大きい。さらに、将来の肥満発症のリスクを減少させ  
ることも報告されている。

母乳育児を希望する母親が安心して母乳で育てられるように  
サポートすることは、育児不安を軽減し、楽しい子育てを通  
して子どもとの絆を強くすることに役立つ。

(山口県小児科医会「1か月健診ガイドブック」)

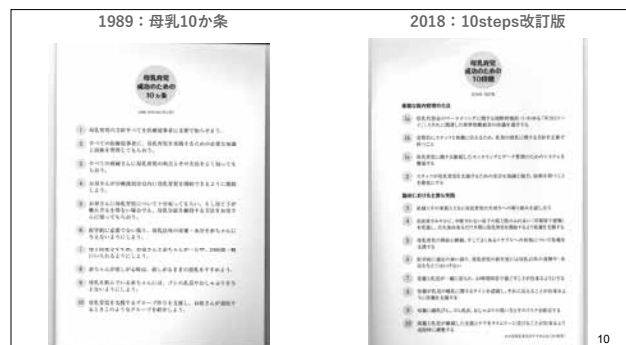
8

母乳育児に重要なのは確立と継続-1

... initiation and sustaining of exclusive  
breastfeeding should be based on the AAP-  
endorsed WHO/UNICEF "Ten Steps to Successful  
Breastfeedings."  
(AAP, Pediatrics. 129:e827,2012)

完全母乳の確立と継続は、米国小児科学会が支持す  
るWHOとUNICEFの「母乳育児成功のための10ヶ  
条」を基本とすべきである。(米国小児科学会、  
2012)

9



10



### 2018改訂の"10 steps" と旧10ヶ条との差異

1. 重要な管理の方法 (1.a,b,c, 2)
2. 臨床実践の鍵
  3. 妊婦とその家族とともに母乳育児の大切さへの取り組みを話し合う) をすでに臨床内容と把握していることはとても重要
3. 「10steps」とは一歩一歩上りつめる「10の段階」と認識しましょう

11.

### 母乳育児に重要なのは確立と継続-2

授乳のリズムが確立するのは、生後6~8週と言われているが、子どもによって個人差があるので、母親等と子どもの状態を把握しながらあせらず授乳のリズムを確立できるよう支援する(支援ガイド)。

→授乳リズムの確立は2ヶ月頃が目途で、それでOKであれば継続出来ます。

12

### 母乳育児に重要なのは確立と継続-3

- ・産科施設での母乳育児の「確立」については母乳の会などでも再三検討されてきている。
- ・しかしその後の「継続」についてはほとんど放置状態にある。
- ・多くの母子は孤立し、傷ついている。
- ・「みやぎ母乳育児をすすめる会」は月2回の仙台市母乳相談などを通じて、助産師も離乳食や卒乳、職場復帰後の母乳育児などを学習し「継続」に関わっている。

13

### 医療者の一言とは

- ・医療者の一言はもろ刃の刃
  - ・励ましのつもりが傷つけてしまうことがよくある (医療者側は気付かないことが多い)
1. 医療者の上から目線 (教える目線) ではなく、共感、支援の姿勢で接することが大切
  2. 決してone pointで児の状態、母親の育児姿勢を判断「指導」しないこと
  3. 不安、特に育児に焦りを与えないことが何よりも大切

14

### 母乳育児支援に必要なこと-1

1. まず、母乳そのものを知り、何故母乳育児が重要なのかをよく知り納得しておくことが支援者にとっては大切です。
  - 人工乳との比較も重要だが、人工乳は劣ったものだという評価をしてはならない (混合栄養、人工栄養の母子を傷つけることになることとなります)
  3. 母乳育児の確立を支援する：妊娠から出産、乳児期早期の支援
  4. 母乳育児継続を支援する：乳児期中～後期、児の成長・発達に伴う哺乳行動の変化、離乳食、アレルギー、職場復帰、卒乳等の悩みへの支援
- これらはその母子、家庭で全て異なる。画一的な「指導」「強制」にならないように努めることが大切です。

15

### 母乳育児支援に必要なこと-2

母乳育児支援の過程は母乳育児を学ぶ過程でもあります  
誰でも100%の知識と技術を持ち、100%悩みに答えられるわけではありません。相談相手の多様な悩みを聞き、その問題を共に解決しようとする過程は実は自分が母乳育児を学ぶ過程でもあります。謙虚に学びそれに感謝するという姿勢で接することが相手の悩みを共有することにつながります。

16

### 母乳育児を支援に必要なこと-3 母子の悩みに応える

- 具体的な悩みに対して母乳育児上の知識と技術を提供出来る (10steps の2)
2. スタッフが母乳育児を支援するための十分な知識と能力、技術を持つことを確実にする
- 精神的な悩みに対してはマニュアルはありません  
悩みを受け止めて、共感して、そして少しのアドバイスを持って寄り添う  
その姿勢の根源は「やさしさ」にある

17

### 母乳育児支援に必要なこと-4 母乳育児支援者を目指す

- ・現在様々な職種がその仕事の範囲で母乳育児支援を行っている
- ・そこでは産科医、助産師、小児科医、看護師、保健師、栄養士などが各々の担当時期と専門分野に従った「支援」を行っている(ようだ)。
- ・しかしながら、母子はそれとは関係なく育ち、その経過に伴い時間的経過に伴った悩みと不安を抱えている。
- ・母子が求めているのはその不安に応え、継続した支援を行える「母乳育児支援者」である
- ・そのためには少なくとも胎児期から新生児期、初乳から卒乳までの赤ちゃんの発達・変化について最低限の知識が必要である。

18

### 育児の基本は母と子を出来るだけ近づけること

- 抱き癖をつけない、授乳回数を減らす、母乳を減らしても離乳食を食べさせる、添い寝・添い乳をやめさせる、等々
- 医療者による母と子を引き離す「育児指導？」が無責任にされていませんか？

母と子の間を遠ざけようとするのが母子関係にとって正しい訳はありません

19

### 愛着形成とは?-1

- 愛着  
子どもが特定の他者(ほとんどは母親)に対して持つ情愛的な絆(ポウルヴィ)
- 愛着障害  
何らかの事情により子どもと母親との間に基本的な信頼感が形成されなかった状態  
→基本は母子関係の樹立にあると思われる

20

## 愛着形成とは？-2

愛着（アタッチメント）行動

1. 定位行動：母親の居場所を確認するために母親の動きを目で追うような行動:見つめる
2. 信号行動：喃語などで母親を自分に引き寄せる行動：話しかける
3. 接近行動：子どもが自ら母親に近寄る、しがみつく行動：抱きしめる  
→そしておっぱい

21

## 基本的信頼 (basic trust)-1

乳児期の育児課題：

人を信頼することが出来るように育てる。

人を信頼する感性や感覚は乳児期にもっとも豊かに育つ。

赤ちゃんの側からみれば自分の望んだことを、望んだとおりに充分にしてもらうことが信頼関係の基礎になる

エリック エリクソン 米 1902-1994

22

(世の中に) 一人の赤ちゃんというものは  
いない。  
赤ちゃんはいつもお母さんの一部である。

*There is no such thing as a baby.  
A baby is always a part of someone,  
the mother.*

ウイニコット

23

赤ちゃんが母親の顔を見つめるとき、  
赤ちゃんは何を見ているのだろうか。  
赤ちゃんはお母さんを見つめる時ふたつのものを見ている。お母さんの瞳と自分を見つめるお母さんと。  
言い換えれば、どのように見えるかは、お母さんが赤ちゃんをどのように見ているかにかかっている。

*When the baby sees its mother, it sees two things, the mother and the mother's eyes looking at it.*

ウイニコット

24

## 甘えられること

自分が愛されている、大切にされているという感覚。

= 自己肯定感

それが自立につながる。

自立は依存という行為が満たされて始めて確立します。

25

## 育児事情の変化 - 1

1. 極端な少子化の進行:

1) 出生数の減少

1949年：270万(ベビーブーム)、  
1975年：190万、1989年特殊出生率=1.57 (出生数124万)  
2000年：119万、2019年：86万、2021年：81万～

2) 15歳以下の人口:11.7%

12~14歳:323万、0~2歳:251万

2. 子育て世代の女性(25 - 44歳)の就業率

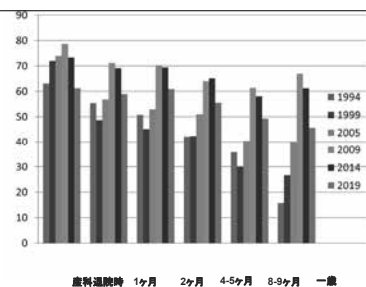
1986年:57.1%、2012年:67.7%、2018年:76.5%

3. 保育園児童

2017年：0歳児保育 14.7万人(5.8%)

1 - 2歳児保育 88.5万人(34.7%)

26



仙台市の完全母乳率の推移

27

## 育児事情の変化 - 2

少子化と女性就労率の増加 = 専業主婦の減少  
この状況は今後も変わらないと思われる。

その状況下で完全母乳だけを叫ぶことに意味はあるだろうか？

母乳率の低い時代 → 母乳率の向上が目標

母乳育児はある程度浸透しつつ育児事情の多様化している現状 → その中での、母乳育児支援の在り方が問われている

28

## 今後の母乳育児支援の在り方

1. 母乳は変化していません。母乳の分析が進むことに伴う新しく正しい知識の獲得と伝達が必要です。
2. 育児環境の変化を理解し、それに伴う母親の意識の変化に伴った母乳育児のあり方を考慮する
3. その上で完全母乳にこだわらない「可能な範囲での、無理のない母乳育児」を推進する支援を目指す。
4. その意味ではこれまでより以上の「多様な支援の在り方」が要求されています。

29



「みやぎ母乳育児をすすめる会」が新しく「やさしい育児の本-赤ちゃんを知り、お母さんを知ろう」を出版しました。育児上の多くの悩み、疑問に答え、産後のストレスなどについても応えています。医療従事者、お母さん、ご家族両方にお勧めです。是非ご一読下さい。一冊1,200円です。  
申し込みは「みやぎ母乳育児をすすめる会」のHP <https://miyagibonnyu.or.jp> から画面右下の本の画像をクリックすると申し込みページに移動しますのでそこから申し込み下さい。または堺に直接(vjats49@aiores.ocn.ne.jp)申し込みでも結構です。

30



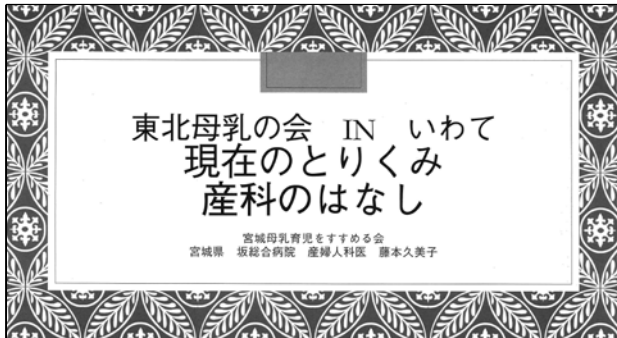
## 第13回 東北母乳の会 in いわて

シンポジウム

「どのように母子を支えていますか？現在の取り組みを教えてください」

みやぎ母乳育児をすすめる会 理事 藤本久美子

産科の話を中心に発表しました。



コロナ禍  
感染してはいけない・させてはいけない  
そのために変化したこと

産科がかかわっているもの

- ①妊婦健診
- ②母親父親学級
- ③入院・分娩時
- ④産後2週間健診
- ⑤一か月健診
- ⑥病棟スタッフはどうしているか

### ①妊婦健診 感染対策

夫や親、子連れはひかえていただく  
預け先がない子連れの方は すいている時間（午後など）へ変更  
発熱者や感冒症状のある方は、時間や日をずらす

- ・メリット  
来院者数を必要最小限にすることによる感染リスク低下
- ・デメリット  
夫が父となる自覚が育ちづらい

### 妊娠中のコロナワクチンや感染者に対する対応

- ・ワクチンをしてよいかという問い合わせに対しては、産婦人科学会で公開している情報にのっとり「母体は感染ハイリスクにて、推奨しているが、最終的にはご本人が決めてよい」というスタンスで説明しております。
- ・感染した場合、宮城では保健所と東北大学産婦人科が中心となり、妊婦は原則入院だったようですが、最近は自宅待機も多いようです。

### ②母親父親学級 感染対策

開催できない⇒オンライン

- ・メリット  
不特定多数の人々が集まる機会がなくなることでの感染リスク低下  
どこにいても参加できる  
人とふれあうのが苦手な方は参加しやすい



### ②母親父親学級 感染対策

- ・デメリット  
オンラインにて、空気感がわからず、質問・発言がしづらい  
だっこ、授乳、おむつ替えなど、育児手技の獲得が遅れる  
オンライン（ZOOMやTeams）を使いこなせる方ばかりでなかったり、セキュリティを気にしてか、参加人数が減った  
母同士の輪が広がりにくい  
夫参加が少なくなり、父となる自覚が育ちづらい

### ③入院・分娩時 感染対策

面会制限；こちらから来院を促した方以外の家族の来院・面会不可  
夫立ち合い不可；分娩室への入室を必要最小限の人数とする

分娩後本人の携帯などで、できるだけ写真撮影

スタッフ；フルPPE

ガウン・マスク・帽子・アイシールド・フットカバー  
施設により サージカルマスク・N95マスク

患者様の胸のところにビニールカーテン

患者様；マスク着用

37週以降感染者となった方は帝王切開へ（母児異室）

入院生活・沐浴指導・退院指導・栄養指導などはタブレットやDVD動画で



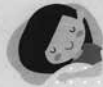
### 37週以降感染者となった方は帝王切開へ

- ・コロナ感染で帝王切開になった母児  
母児異室  
搾乳した母乳を児へ運ぶルートが確立している施設もあり  
隔離期間終了後に産後ケアとして1日～数日同室してもらい退院

### ③入院・分娩時 感染対策

◦メリット

接触を減らすことでの感染リスク低下  
面会制限により、母体の授乳時間や休息時間が守られる  
動画での説明によりスタッフの仕事が減る  
夫や家族への対応がほぼなくなる



(部屋への案内、分娩進行時夫への指導・声掛け(腰をさすって、うちわであおいで、手をにぎってなど)「こんなに痛がっているのに大丈夫か?」と聞いてくる家族への説明がいない 倒れる夫への対応)

### ③入院・分娩時 感染対策

◦デメリット

スタッフ N95マスク 苦しい  
患者様 分娩時はマスクが苦しく、ずれる  
患者様 スタッフが常についていられるわけではないため孤独を感じる  
夫 分娩の感動がうすれる 大変さがわからない  
妻への感謝が足りなくなる  
父としての自覚の芽生えが遅れる

### ④産後二週間健診 (母乳外来)

退院時問題なさそうだった方は電話訪問

◦メリット

不特定多数との接触を減らし感染リスク低下

◦デメリット

児を実際みていないことから、  
ミルクを足す方が増えた  
母乳のみで大丈夫と言ってあげられない



### ⑤一か月健診

外来への付き添いを極力ひかえていただく  
可能なら 家族は自家用車で待っていただくなど

◦メリット 不特定多数との接触を減らし感染リスク低下

◦デメリット あまりない

### ⑥病棟スタッフ

休憩時の孤食・黙食、飲み会自粛

◦メリット

感染リスク低下

◦デメリット

私語を極力減らしたら、新人とのコミュニケーション不足  
新人育成の遅れ  
→マスクtoマスクでコミュニケーションをとる  
アクリル板を使って食事休憩時に会話する



### 今後の課題・取り組むべきこと

コロナに対し最近やや緩和傾向になってきている・・・?

- オンライン・動画を充実させる → 令和には必須
- 分娩進行時 スタッフの訪室をできる範囲で増やす  
誰かに腰をさすってもらっているのと一人で耐えるのでは雲泥の差
- コロナ感染で帝王切開母児異室となった方の母乳を見へ  
隔離期間終了後の母児ケア支援 コストとの相談
- 二週間健診(母乳外来) 感染予防しながら復活 産後は特に顔を合わせての支援が必要と思われる
- 夫教育 オンライン父親学級の充実化  
SNSの普及や、国が男性の育児促進をはじめたことなどから、産前産後・子育て中の夫に対する教育的情報(夫側発信・妻側発信どちらも)が流れ始め、書籍も増えている 医療者側からも発信を

ご清聴ありがとうございました。

## 崔 佳苗実さんの御霊のご冥福をお祈り申し上げます。

「みやぎ母乳育児をすすめる会」一同と佳苗実ちゃんを知る全ての仲間たち

みやぎ母乳育児をすすめる会 監事 塚 武男

当会理事であった崔佳苗実さんが本年1月22日、61歳の短い生涯を終えられました。

ここに謹んで御霊のご冥福をお祈り申し上げます。

佳苗実さん、ここでは佳苗実ちゃんと呼ばせて頂きますが、私が佳苗実ちゃんと初めてお会いしたのは1985年の9月でした。当時私は8年間勤めていた仙台市立病院から東北大学に新生児医療を確立すべく東北大小児科に移り周産部（周母）で働くことになりました。

当時の周母は産科医が新生児の治療にもあたっており、いわば産科の牙城でしたが、そこに小児科医の私が単身乗り込んだわけです。周母の新生児の部屋は「キント室」と呼ばれ、担当は全て助産師さんでしたが産科部門とは一応独立した勤務体系をとっており、佳苗実ちゃんはその「キント室」の勤務にあたっていました。まだ25 - 26歳の頃でしょうか。

新参者の小児科医は一方では冷たく扱われましたが、多くの若い助産師さん達は暖かく迎えてくれ、佳苗実ちゃんもその中の一人で、持って生まれたさわやかな性格と可愛らしさに私は彼女との勤務が楽しみになったことを覚えています。それから今まで40年近いお付き合いを頂いてきました。

佳苗実ちゃんは仕事仲間からもとても愛されており、こんなエピソードを今でも覚えています。ある日彼女が5 - 6日の休みを取り、どこか（多分イギリスだったと記憶しています）海外旅行に行き、帰国後準夜帯から「キント室」の勤務に入ることになっていました。そこで日勤の助産師さんと私は彼女を驚かせようと、彼女が周母に出勤した時を見計らい、「佳苗実ちゃん、今から26週の双胎が帝切になるからね」とさも忙しそうに皆で動き回りました。そうなれば当然人工呼吸器も新たに2台動きます。佳苗実ちゃんは海外旅行から帰ったばかりで、のんびりした気分だったでしょうに「えー」とびっくりしていました。それから何分くらいしてからでしょうか、「佳苗実ちゃん、これはあなたをびっくりさせるための全部うそ」と白状、大笑いとなりました。彼女も最初は「ひどい」と言いながら、皆で笑い転げた記憶があります。今、こんな明るい職場があるのでしょうか、そしてこんなに愛される人がいるのでしょうか。みんな、佳苗実ちゃんなら騙されても怒らないで笑ってくれると信じていたからこそそのエピソードです。

それから彼女は心臓外科医で現在こども病院副院長の崔禎浩先生と結婚され、松井佳苗実さんから

崔佳苗実さんとなりました。そして、みきちゃんとゆうき君という二人のお子さんに恵まれました。下のゆうき君のお産の時だったのでしょうか、「ちょっとみきを預かってもらえますか」ということで、では私がみきちゃんをお預かりしましょうと、みきちゃんと二人で大学病院中央廊下の喫茶部に行っ  
て一緒にジュースを飲んだこともあります。みんな家族という気持ちでした。尚、現在ゆうき君は小  
児科医となり活躍中です。

その後佳苗実ちゃんは周母を退職され、東北大学病院に拠点を構えた周産期医療のコーディネー  
ターという大役につかれ、周産期の産科、小児科の調整役としての重要な役割を果たされました。数  
年前に癌を発症され、その後闘病生活を送ることになりましたが、病気を発症された後も周囲には身  
体の辛さをこぼすことなく最後の最後までその仕事を勤め上げられたと聞いています。私もそうで  
すが、仕事場の周囲の方々でさえも佳苗実ちゃんが辛い癌を患っていたとは全く知らなかったという方  
がほとんどだったようです。従って、今回の訃報は誰にとってもほんとうに突然の知らせでした。

彼女のひたむきさと我慢強さを強く物語っているようです。

母乳の会には周母時代のお付き合いから私がお誘いし、「宮城県母乳育児をすすめる会」の仕事  
をずっとお手伝い頂きました。当時の「キント室」勤務の助産師さんで母乳の会のお手伝いをその後も  
何人かにお願いしましたが、最初にお願ひしたのは彼女でした。その真摯な人柄と母乳育児への理解  
の深さから、この人しかいないと私が考えたからです。2007年のNPO法人化時には理事になって頂  
き、2019年10月までの間理事を務めて頂きました。理事をお辞めになった理由は、仕事が大変で理  
事会の出席がなかなか難しくなったということだったのですが、実は病気との闘いがかなり辛くなっ  
たからなのだろうと今になってですが察しています。

昨年後半より佳苗実ちゃんの病状は徐々に悪化してきたようですが、今年の1月には初孫に恵まれ、  
辛い病状にありながらお孫さんを抱っこ出来たとお聞きし、さぞかし嬉しかったであろうとのお気  
持ちを察しています。

ご臨終に際しご自宅に帰りたいということでご自宅に戻られそのまま息を引き取られたそうです。

佳苗実ちゃん、あなたのその爽やかな笑顔と少し高めで明るいその声は今でも皆さんの心に強く焼  
き付いており、決して忘れることはありません。

どうぞ、今は安らかにお眠りください。

合掌

## 2021年度 第6回 理事・幹事会議事録

日 時：2022年6月6日(月) 18:30~19:35

参加者：青葉、佐藤(祥)、飯田、小原、加藤、相澤、渡邊、藤本、中村、洞口、堺、大友、  
高橋(有)、佐々木(京)、熊谷

司 会：青葉

記 録：佐々木(京)、熊谷

### 議 題

#### 定例会報告

洞口理事、中村副理事長、加藤理事、青葉理事長、事務局熊谷

振り返り、感想 (MLで共有)

- ・アンケートフォームへの入力がかたくなできない形になってしまった。→次回アンケート作成は大友さんへ依頼。
- ・実際に母乳育児をした女性医師からの視点がとても良かったと思う。
- ・演者は反応がわからないので話しにくい。
- ・画面オフでの参加だけだと反応がわからないので、可能な方は画面オン (ミュート) でも良かったか。
- ・質問を受ける時もチャットの書き込みだけではなく、ビデオオンにして手挙げ、も良かったかも。最後に音声・ビデオオンにして拍手など貰うというのも良いかも。
- ・その場合、別モニターなどで参加者の様子が見えるような設定にするとよいか。
- ・講演会の場合、参加者はビデオ/音声オフになるかと。会の目的で決めてはどうか。→会ごとに検討。
- ・申込みなどの対応について、現在事務局の負担が大きい。しかしPeatixでの申込みなどができると言われることも少なくない。現在逐一事務局から個別にメールを送っているが、申込みフォームを送るなどして、できれば一斉送信できる形にしたい。→今後検討。

#### 東北母乳の会報告

青葉理事長、藤本理事、堺監事

- ・基調講演 堺監事 多様性を持った支援が必要と話されていた。
- ・堺先生のライフワークの母乳育児支援の方向性の変更をされていて素晴らしいと思った。これから我々が本当に考えなくてはいけないところだと思う。いずれ何かの機会に。
- ・来年は青森 ハイブリッドの予定。
- ・福島 メンバーが変わる→氏家先生が退任、福島医大の小笠原先生 (産婦人科)。
- ・山形 シンポジウムで発表予定のPPT→理事・幹事会MLで後ほど事務局から送る。
- ・堺監事：育児のいろいろなことが問われている。自分のやっていることを見直しなくてはと思っている。母乳哺育学会の原稿を載せている。東北母乳の会 黒川会長から懇親会で感謝状を頂いた。いろいろなことが分岐点に来ている印象。

藤本理事：オンラインで音声あまり聞こえなかったのは残念。他施設もコロナ禍でも頑張っているのがわかった。自分も頑張ろうと思った。進化して支援していこうと思った。

## フォーラムについて経過報告 青葉理事長

10月29日（土）ハイブリッドで行う予定 時間はMLで諮る。

場 所：歯科医師会館（予定）

演 者：伊藤朋子さん、小野由起子さん、鳴海先生のクリニック産後ケア担当助産師、仙台市こども未来局菅原さん

テーマ：「産後ケア」

担 当：佐藤(祥)理事、事務局熊谷

- ・産後ケアは対象が産後4ヶ月→今年度から1年までとなった。乳房ケア以外のニーズ、「久しぶりに大人と話した」「久しぶりにゆっくり風呂に入れた」という声があった。
- ・産後ケア＝乳房ケアとは限らない。デイケア／ショートステイが行われているが、今後アウトリーチ型も検討されている。
- ・対象が1年に延び、ニーズも多様化していくと考えられる。仙台市のアンケート結果はまだわからない。
- ・仙台市からは県の担当者の話も、という意見もあったので、県の方にも依頼してみる。
- ・総会時に元理事崔さんの黙祷の時間も持つ。

## 理事・幹事会の開催日時の変更について 事務局熊谷

- ・参加者を増やすためにはいつが良いか？
- ・お子さんがいると18：30～は忙しい時間ではあるが、土日よりウィークデーの方が良い。
- ・あまり参加していない方に聞いてみては？→MLで諮る。

## 本の販売促進について 青葉理事長

- ・東北母乳の会で20冊販売。
- ・開業している理事会メンバーに青葉理事長から電話してみる。
- ・八幡悦子さんからプロ向けに販売促進したほうがよいという意見があった。
- ・本を保健所等に送っているが反応なし。つて、顔が見える関係だと買ってくれやすいか。
- ・後2,600冊、年内にあと600冊は販売したい。更に宣伝をお願いします。

## その他

- ・次回ニュースに崔さんの追悼文 堺監事・有志
- ・イベントについてのマニュアル作成について、作成途中のものでも事務局に送って頂く。

次回理事会は7月4日(月) 18：30～



日時：7月4日(月) 18:30~19:55 (Zoom)

参加者：青葉、佐藤(祥)、中村、飯田、加藤、藤本、洞口、熊谷、(オブザーバー)山田、武石

司会：青葉

記録：熊谷、山田

## 議題

### 次回フォーラムについて

産後ケア事業を実施するうえで行政と助産師との連携につながるよう、以下の内容について検討した。

#### 1. 担当と内容

- ・担当：佐藤(祥)理事、事務局熊谷
- ・会場：歯科医師会館（仙台市青葉区国分町1-5-1）
- ・開催日時：2022年10月29日(土)
- ・開催時間：13:30~16:00（総会30分、フォーラム2時間の予定）
- ・定員：会場50名・オンライン定員99名
- ・方法：Zoomミーティングでライブ配信
  - \*オンデマンド配信については需要があることから、事前の案内を行ったうえで、視聴期限を設けてZoomの録画をYouTubeに出す方法で行うことになった（視聴期限については今後検討予定）。
- ・全体のテーマ：産後ケア事業で調整中、キャッチコピーをMLで募集する予定
- ・内容：基調講演（演者各30分程度）とシンポジウム（演者各15分程度）
  - 基調講演
    - ・宮城県担当者（\*確認中）と仙台市の菅原さん
    - ・塩野悦子先生（宮城県助産師会会長）青葉理事長から依頼
  - シンポジウム
    - ・伊藤朋子さん（とも子助産院院長・助産師）
    - ・小野由起子さん（森のおひさま助産院院長・助産師）
    - ・菅原香織さん？（なるみ赤ちゃんこどもクリニック助産師）
- ・参加費：500円（例年同様）
  - 集金方法はPeatix利用する方向とし、来場者は当日現地で支払う形となった。
- ・申込方法：Peatix中心で。当日参加は事前申し込みはなしでも可



## 2. 今後の予定

- ・内容については8月頃に演者、主催者側で打ち合わせ予定。
- ・打ち合わせ担当者

県・市町村・塩野先生：青葉理事長

シンポジストの調整；佐藤(祥)、事務局

## 3. 謝金について

青葉理事長が確認することになった。

## 4. 交通費について

オンライン参加の場合は不要であることを確認した。

## 5. 後援依頼について

例年は日本母乳の会・東北母乳の会・のびすく運営団体（仙台、泉、若林）・宮城県助産師会であったが、新たに宮城県と仙台市（担当：青葉理事長）、仙台市医師会（担当：上原監事）に相談することになった。

## 6. ポスター送付先について

分娩取り扱い施設（理事・幹事会メンバー不在の施設）へは郵送、日本母乳の会、東北母乳の会、のびすく運営団体（仙台、泉、若林）、宮城県助産師会、過去の勉強会に申し込みのあった方へメールで送信、開業助産師へは宮城県助産師会に依頼することとなった。

## 総会での審議事項について 事務局熊谷

- ・定款の変更について以下の通り、次回総会で審議予定であることが報告された。

（現 行）13条2 理事のうち、1名を理事長、若干名を副理事長、若干名を上席理事とする。

（変更案）13条2 理事のうち、1名を理事長、若干名を副理事長、若干名を上席理事とすることができる。（下線部を追加）

- ・総会議案書が今回の理事会に間に合わなかったため、次回理事会に提出予定であることが報告された。

- ・会計については8月31日の当会の年度が終了してから報告予定であり、その後監査報告の予定であることが報告された。

## ニュースについて

### 1. 発行時期

9月下旬発行（締切：8月末予定）

### 2. 内容（担当）

- 1) 巻頭言（青葉理事長）
- 2) 母乳育児奮闘記？（堺監事と相談予定）
- 3) 定例会報告（幹事佐々木京さん）

- ・定例会のスライドを一部抜粋して掲載（中村副理事長）

4) 東北母乳の会報告 (青葉理事長)

- ・講演スライドと要旨 (堺監事と相談予定)
- ・発表スライド (藤本理事)

5) 理事・幹事会議事録、事務局総会・フォーラム開催のお知らせ (事務局熊谷)

6) 本の宣伝 (事務局熊谷)

7) 事務局からのお願い (事務局熊谷)

\*ニュースには、挨拶文 (青葉理事長)、質問書、総会議案書、振込用紙、本のチラシ、フォーラム?のチラシを同封予定。

## その他

1. 総会資料作成についてのお願い

- ・2021年9月1日～2022年8月31日までに講演会などを行った方は、開催日時・場所・参加者の属性・人数、費用についてお知らせください。
- ・総会資料作成時には誤字脱字などの確認についてご協力ください。

2. マニュアル作成について

- ・定例会、フォーラムについてはマニュアルが作成中であることが報告された。
- ・スケジュールとしては8月に完成マニュアルを提示、9月から活動開始の予定。

**【お願い】**

- ・ワークショップの担当者を自薦他薦お願いします。

次回理事会は8月1日(月) 18:30～ Zoom予定

日 時：2022年8月1日(月) 18:30~19:10 (Zoom)

参加者：青葉、堺、熊谷、加藤、横江、飯田、中村、佐藤(祥)、相澤、藤本、高橋(有)、  
佐々木(京)、オブザーバー：山田、早坂

司 会：青葉

記 録：熊谷・山田

## 議 題

### 母乳フォーラムと総会の準備の進捗状況

1. 後援について (事務局熊谷)
2. 日本母乳の会、東北母乳の会、せんだいファミリー・サポートネットワークについては後援承諾済み、宮城県助産師会、マザー・ウィングは承諾待ち、また仙台市、宮城県はこれから送る予定であることが報告された。
3. 青葉理事長より宮城県・仙台市担当者との打ち合わせが以下の予定であることが報告された。  
⇒8月3日(水) 13:00~ 担当：青葉理事長、中村副理事長、事務局熊谷
4. ポスターについて (青葉理事長)
5. メーリングリストで今後内容を確認する予定であることが周知された。

### 議案書について

- ・青葉理事長より、議案書については会計の内容を追加してメーリングリストで審議することが説明された。
- ・事務局より、講演会等された方は日時・会場・参加者の概要と人数を事業報告として事務局まで提出するよう依頼された。また内容については、メーリングリストで確認することが了承された。

### 母乳フォーラムのキャッチコピーについて 佐藤(祥)理事

- ・母乳フォーラムのキャッチコピーを募集したものの、応募がなかったことが報告された。
- ・意見交換の結果、以下のキャッチコピーの候補が提案された。メーリングリストで審議する。
  - ①「産後ケアってなに?~みんなで考えよう~」
  - ②「産後ケア~悩みを共有して安心育児~」 (飯田理事)

### フォーラムの演者について 青葉理事長

フォーラムの演者の決定と産科施設からの話を入れてほしいとの要望については、8月3日の宮城県・仙台市担当者との打ち合わせを受けて、メーリングリスト審議することが報告された。

## 本の販売戦略について 青葉理事長

会員の八幡悦子さんから「各県の訪問をしている助産師」あてにプロモーションを仕掛けたらよいのではとの助言を頂いたため、プロモーション方法について検討予定であることが報告された。今後青葉理事長宛にメールでアイデアを募集することが報告された。

## その他

### 1. フォーラムの方法について（青葉理事長）

現在Covid-19の感染が蔓延しているが、フォーラムは実施予定であること、方法については宮城県・仙台市担当者との打ち合わせ次第で決定することが説明された。

### 2. フォーラム参加者の募集方法について（事務局熊谷）

意見交換の結果、Zoomとのハイブリットでの募集とすることを確認した。

### 3. フォーラムでの本の販売について（飯田理事）

フォーラムでの本の販売予定であることを確認した。

次回 第9回理事・幹事会 9月5日（月）18：30～（Zoom）

# 母乳フォーラム in みやぎ 2022

産後ケアってなに？～みんなで考えよう～

日時：2022年10月29日（土）14：00～16：00  
場所：宮城県歯科医師会館（仙台市青葉区国分町1-5-1）5階講堂  
定員：会場50名（中学生以上）、Zoom90名  
資料代：500円

## プログラム

13：30～14：00 NPO法人みやぎ母乳育児をすすめる会 総会  
14：00～16：00 講演会／意見交換

行政説明：「産後ケア事業と市町村の取組について」

五十嵐弘美さん（宮城県保健福祉部子ども・家庭支援課 課長補佐（班長））

「仙台市の産後ケア事業について」

庄子希恵さん（仙台市 子供未来局 子供育成部 子供家庭保健課 課長）

基調講演：「産後ケア：これからの育児に必要な発想の転換」

塩野悦子さん（宮城県助産師会 会長／東北福祉大学健康科学部保健看護学科 教授）

講演：「哺乳類としての赤ちゃんのトリセツ」

伊藤朋子さん（とも子助産院 院長）

「助産院で産後ケアを行う意義とは」

小野由起子さん（森のおひさま助産院 院長）

「小児科診療所における産後ケア」

鈴木瑠衣さん（なるみ赤ちゃんこどもクリニック 看護師）

「当院の産後ケアの現状と課題」

高橋有希さん（東北公済病院母子センター 師長）

\*講演詳細は予告なく変更となることがあります。ご了承下さい。

\*事前申し込みをお願いします（締め切り10月25日23：59）

詳細・お申込み先：<https://susumerukai-forum2022.peatix.com>



お問い合わせ先：NPO法人 みやぎ母乳育児をすすめる会

〒980-0803 仙台市青葉区国分町2-3-11

東北公済病院 母子センター

E-mail：[m.bonyu@gmail.com](mailto:m.bonyu@gmail.com)

<https://miyagibonyu.or.jp/>

後援：日本母乳の会 東北母乳の会 宮城県助産師会 せんだいファミリーサポート・ネットワーク

特定非営利活動法人 みやぎ母乳育児をすすめる会

# やさしい育児の本

赤ちゃんを知り、お母さんを知ろう

育児にかかわる全ての皆さんへ、敬意と応援をこめて  
「初乳から卒乳まで」に続く第二弾 絶賛販売中

育児を支援する上で、お母さん方へのアドバイスに困ったことはありませんか？ そんな方々へヒントになるように、困ったときに読み返せる基礎的な教科書をつくりました。育児を応援する全ての皆さんの役に立てていただくべく、日々母子を支える小児科医・産科医・歯科医師・薬剤師・助産師が執筆しました。もちろん子育て中の親御さんにも参考になる内容です。

- ・赤ちゃんの睡眠パターン変化
- ・赤ちゃんの黄疸
- ・赤ちゃんの哺乳行動と哺乳量
- ・初乳と成乳
- ・母乳による母子の病気の予防効果
- ・乳児ビタミンK欠乏性失血症
- ・赤ちゃんの食物アレルギー
- ・赤ちゃんのむし歯
- ・乳幼児虐待の現状と対策
- ・育児困難のお母さんをどのように支援するか
- ・産後のお母さんのメンタルヘルスとそれへの対応
- ・仕事もしているお母さんを取り巻く状況…など37項目



■ご注文お問合せ先

株式会社 宮城文化協会内 発送事務局

〒981-0932 仙台市青葉区木町5-29 FAX : 022-273-2590

■本注文専用メール : m.bonyu.book@gmail.com

■お問い合わせメール : m.bonyu@gmail.com

仕様/A5版 全カラー印刷 141P  
ISBN978-4-9909084-1-6 C3047  
定価：1,200円 (本体1,091+税10%)

## 「やさしい育児の本」購入申込書

氏名			
住所	〒		
TEL		FAX	
メール	@		
申込冊数	1,200円(税込) X	冊=	円 合計金額 円

送信先 FAX 022-273-2590 メール m.bonyu.book@gmail.com

住所や勤務先、お名前が変わった方、退会を希望される方は事務局までお知らせください。また、当会では情報伝達を確実にかつ迅速に行い、経費を削減して皆様へ還元するため、連絡手段やニュースレターのデジタル化を進めております。メールアドレスをお知らせ頂いていない方、メールでのお知らせが届いていない方は、事務局までお知らせください。当会宛にメールでお名前・ご所属・職種をお知らせ頂くか、会費納入時に振込用紙へ記載をお願いします。どうぞよろしくお願いいたします。

**連絡先**

事務局：東北公済病院 母子センター

住 所：〒980-0803 宮城県仙台市青葉区国分町2-3-11

E-mail：m.bonyu@gmail.com



**特定非営利活動法人 みやぎ母乳育児をすすめる会**  
**理事長:青葉 達夫**  
**事務局:東北公済病院7階 母子センター**  
**電話:022-227-2215(直通) e-mail:m.bonyu@gmail.com**